

平成27年5月19日

札幌市長 秋元 克広 殿

道路を考える会 代表 原田 さちこ



札幌市中央区

TEL.080-9619-1996

環状通（南19条西7丁目から西15・16丁目）整備計画の変更の要望書

いつも大変お世話になっております。市民の毎日の生活が守られ暮らせていけることにご尽力をいただき誠に感謝申し上げます。

環状通（南19条部分）の整備事業について、地域の特性、近年の道路に対する社会的認識の変化、民意、将来の子どもたちへの責任、私たちは、どのような社会を目指しているのか、そのためには、どのような道路がよいのか。これらのことを、真剣に考え、要望いたします。

要望事項

1. 現整備計画の車道と歩道の割合を見直し、歩道を広くとった道路として整備する。
2. 車道は、片側2車線、右折車線の整備された道路、より交通安全を考えた車道とする。
3. 交通量負担による地域の環境劣化(車の走行による恐怖感、排気ガスによる大気汚染、騒音、振動等)軽減のためと現整備計画の横断歩道の横断距離20mをいくらかでも短くする為に、車線は6から5へ削減を求めます。

要望に付随してご提案があります。（項目1～4）

1、南19条西15・16丁目の整備について

既に車道が広く整備されている西15・16丁目について、車道の歩道寄りの部分2.0mを自転車道とし、車道部分は片側2車線に右折車線の整備された形とする。この区間は西7～15・16丁目の中でも比較的車の交通量も少ないため、車道脇の自転車道も可能ではないでしょうか。車の左折による巻き込み事故の防止のため車道と自転車道の間には、ポール等を設置する。冬期の除雪の妨げにならないように地中に収納できるものか、取り外せるものとする。冬期の自転車の通行は禁止という管理をされてはいかがでしょうか。

2、南19条大橋からの車の流入について

南19条大橋からの車の入り込みについて、南19条大橋の片側3車線のうちセンターライン寄りの車線を右折専用車線とし、南19条西7丁目に入るのは歩道寄りの2車線としてはいかがでしょうか。

3、豊平川のサイクリングロードとの連携について



要望案の道路は、歩道が広く取れますので歩道上で、歩行者と自転車が住み分けて通行できるようにして豊平川の河川敷のサイクリングロードと藻岩山のロープウェイが、自転車により利用しやすく整備されれば、市民のレクリエーションとしていいのではないのでしょうか。

サイクリングロードとのアクセスを容易にするために、南19条大橋のすぐのところ、河川敷へ自転車で降りることのできる階段を整備しては、いかがでしょうか。

4、駐輪場について

自転車での利用には駐輪場が必要となりますが、西15丁目のベンチのところを、駐輪場として整備し、利用できるようにされてはいかがでしょうか。

以上でございます。どうか、市庁内でのご検討ならびに、広く市民に「道路を考える会」の要望案の道路の形と、今の札幌市の整備計画の道路の形を、比較し、どちらの道路が札幌の住宅街にとって、また、藻岩山や豊平川の自然を生かすまちづくりにとって、より好ましい道路であるかを共に考える機会を持っていただきたくお願い申し上げます。

また、専門家の意見を聴くような有識者会議などのご検討も、あわせてお願い申し上げます。

今回の要望とほぼ同じ内容で、陳情もいたしました。2015年2月12日に、札幌市議会財政市民委員会へ陳情いたしました。

平成27年1月9日受理、平成27年1月30日付託 財政市民委員会

陳情第220号 札幌市都市計画道路3・2・10環状通（南19条西7～16丁目）の整備に関する陳情
今回の要望書に添付いたしますので、あわせてお読みいただきたくお願い申し上げます。

今回の要望書は、2015年3月17日に、ご提出いたしましたものと同じ内容を含みます。

3月17日に提出いたしました際には、環状通南19条沿道にお住まいの方や地権者の方、札幌市民の方へアンケートにお答えいただいた回答も添付いたしました。今の札幌市の整備計画の道路と、「道路を考える会」の要望している車道分5車線で歩道の広い形の道路について、どちらの道路がよいかを尋ねるアンケートです。札幌市の整備計画の道路より、「道路を考える会」の道路の形を支持して下る方が大変多いという結果になりました。

また、「道路を考える会」の要望案の道路の形へ整備計画を変更してほしい。という署名も3015筆いっしょに提出いたしました。

上記に対する札幌市のご見解をご回答いただきたくお願い申し上げます。書面の形で郵送にて、6月4日までに、原田さちこの元に確実に届くようお願い申し上げます。札幌市のご誠意あるご対応を切にお願い申し上げます。